

# 会報

昭和45年1月

第6号

## 新年の増刊に際して

村松常雄

本会の目的を達成する上から、会報による情報交換、相互連絡の回数も予算の許す限りせめて年4回位に増したいという私の願望は、既に3年程前の総会の席で申上げたことであります。しかしその後色々の事情もあって実現が延ばされて居りました所、やっと昨年秋の総会で事務局から事業計画の中で申上げたように、たとえ頁数は少ないものになっても、いわば号外的な会報を、従来の年間2回だけであった定期刊行の間に挿んで2回追加したいということをお願いしました。本号がその第1回として実現されたことを喜ぶものであります。

次の問題はその内容の点であります。今回はたまたま昭和45年度予算の政府案が編成された時期の直後ということでもあるので、その速報的なものが中心となりました。関係各位のお役に立ち得れば幸いです。なお今後の会誌の内容に関する御意見、御要望を随時事務局の方にお申出で頂ければ幸いです。

ついでながら、本会をできるだけ早く全国的な組織にまで発展するように努めるという使命の点では、まだ2、3の県が準備中の段階であると承って居り、従って現実には未完成の状態が続いて居ります。それぞれ御事情もあることとは存じますが、近い将来に名実共に全国的な組織体となることが出来ますよ

うに、それぞれのブロックにおかれまして格段の御尽力を希うものであります。

毎年、本会の総会の機会に各位にお目にかけて居る各都道府県からの活動報告を拝見して居りますと、各地における巡回相談や、研修や、色々のテーマでの講演会やセミナーなどの活動が年々盛んになって来て居り、私のような年令のものから見ますと今昔の感に堪えぬものがあります。

戦後、国民生活のあらゆる面における烈しい変動に伴い、精神衛生の領域の問題は益々多くなり、又益々深刻なものがあります。国民全体の精神の健康を護り、その伸長をはかるための活動は愈々重要さを加えて居ります。

又精神障害者に対する医療対策の在り方が強く反省され、新しい道を求めての動きは、世界的な流れでもありますが、特にわが国では色々な問題が烈しく論議されて居りますことは、諸賢の御承知の通りであります。

これらの面で後進性を脱し得ていないわが国において、この1970年という新しい年を迎えるに当たり、これからの10年が劃期的な躍進の時代となりますように、全国各地の諸賢と力を併せて努力、前進を期したいと存じます。

目 次

昭和45年度精神衛生関係予算案決る……………	2 頁
第18回精神衛生全国大会10月新潟県で……………	5 頁
精神衛生相談員資格認定講習会大阪で開く……………	4 頁
第1回精神病院長研究会開催……………	4 頁
精神病院の火災事故調べ……………	4 頁

昭和45年度精神衛生関係予算決定される

昭和45年度の国家予算は去る1月24日大蔵省内示に始まり1月31日の閣議決定を経て政府案が決定されたが、そのうち精神衛生関係の予算（厚生省精神衛生課所管に係るもの）の内容は次のとおりである。今回の予算において新規に計上されたもの等目新しいものについては、

1. 精神障害回復者社会復帰センターの設置費（1ヶ所、補助率 $\frac{1}{2}$ ）
2. 精神衛生思想普及のため行なう日本精神衛生全国大会の経費に対し日本精神衛生連盟に対

し委託費を支出。

3. 精神衛生関係技術職員に対する研修費として日本精神病院協会に対し委託を支出。
4. 地域精神衛生対策の推進のため、特に都市における精神衛生対策強化のため、保健所運営費のうちに含まれている精神衛生の訪問指導等の経費の拡大。等の予算が計上されている。なお、この予算の執行に当っては、さらに内容毎に本年3月末までに検討される予定である。

事 項	前年度当初 予算額	昭和45年度 内示額	対前年度 比較増△減	積 算 内 訳		備 考
				昭和44年度	昭和45年度	
(精神衛生課)	千円	千円	千円			
(項) 厚生本省	15,665	20,308	4,643			
(1) 精神衛生相談員資格認定講習会費	942	1,023	81	年1回2地区 100人	年1回2地区 100人	
(2) 精神衛生制度調査費	3,823	4,118	295			
(3) 精神衛生思想普及費	0	2,000	2,000		委託先 日本精神衛生連盟	精神衛生全国大会の開催費
(4) 精神病院技術職員等研修費	0	5,000	5,000		委託先 日本精神病院協会	精神病院技術職員等研修費
(5) 優生保護対策費	4,952	2,125	△ 2,827	優生保護調査費 4,880	指定医指導費 2,052	優生保護指定医の研修
(6) アルコール中毒対策費	3,255	3,255	0	思想普及費	思想普及費	公衆衛生局企画課より所管替
(7) その他	2,693	2,787	94			
(項) 保健衛生諸費						
16. 優生手術費交付金	9,183	12,047	2,864	対象件数 男 112件 女 369件 単 価 男 6,738円 女 20,311円 補助率 %	99件 379件 7,443円 24,543円 %	

(項) 保健衛生施設整備費								
16. 精神病院等施設整備費補助金	295,117	317,259	22,142					
(1) 精神病院施設整備費補助金	252,552	229,780	△ 22,772			病床数 1,400床 公立 新設 300床 増設 900床 公的 増設 200床 単 価(㎡) 25,797円 補助率 公立 $\frac{1}{2}$ 公的 $\frac{1}{2}$	1,170床 270床 720床 180床 27,964円 $\frac{1}{2}$ $\frac{1}{2}$	
(2) 精神衛生センター施設整備費補助金	42,565	46,141	3,576			対象施設A級 1カ所 B級 5カ所 補助率 $\frac{1}{2}$	1カ所 5カ所 $\frac{1}{2}$	
(3) 精神障害回復者社会復帰施設整備費補助金	0	41,338	41,338			対象施設 1カ所	1カ所 180人 夜間生活指導部 昼間生活指導部 作業指導部 面積 2,376㎡ 単 価(㎡) 34,796円 補助率 $\frac{1}{2}$	
(項) 精神衛生費	27,664,786	35,820,712	8,155,926					
16. 精神衛生費補助金	27,651,937	35,807,072	8,155,135					
(1) 措置入院費	26,982,221	35,061,639	8,079,418			措置人員 75,000人 費用徴収率 0.89% 補助率 %	79,000人 1.03% %	
(2) 通院医療費	602,652	665,559	62,907			対象人員 47,000人 公費負担率 $\frac{1}{2}$ 補助率 $\frac{1}{2}$	47,000人 $\frac{1}{2}$ $\frac{1}{2}$	
(3) 法施行事務費	47,247	52,212	4,965			補助率 $\frac{1}{2}$	$\frac{1}{2}$	
(4) 精神衛生センター運営費	19,817	27,662	7,845			対象A級5カ所\ B級18カ所/ 職員俸給(1人当り) 医師(年額) 509,676円 その他職員 329,724円 補助率 $\frac{1}{2}$	6カ所\ 23カ所/ 87人 562,428円 363,851円 $\frac{1}{2}$	
16. 精神病院等設備整備費補助金	12,849	13,640	791					
(1) 精神病院設備整備費補助金	5,270	4,387	△ 883			病床数 1,400床 単 価 8,500円 補助率 公立 $\frac{1}{2}$ 公的 $\frac{1}{2}$	1,170床 8,500円 $\frac{1}{2}$ $\frac{1}{2}$	
(2) 精神衛生センター設備整備費補助金	7,579	7,579	0			対象 6カ所 補助率 $\frac{1}{2}$	6カ所 $\frac{1}{2}$	
(3) 精神障害回復者社会復帰センター設備整備費補助金	0	1,674	1,674			対象 1カ所 1人当り 20,000円 補助率 $\frac{1}{2}$	1カ所 20,000円 $\frac{1}{2}$	
課 合 計	27,984,751	36,170,326	8,185,575					
保健所運営費	20,354	34,383	14,029					
(精神衛生対策分)								
合 計	28,005,105	36,204,709	8,199,604					

## “第1回精神病院長(管理者)研修会を開く”

社団法人日本精神病院協会(会長、渡辺栄一)では「精神病院長(管理者)が病院の負っている任務を再確認すると同時に病院管理という難役を負って精神科医療の進歩に寄与する努力の一助とする」ことを目的として初めて精神病院長(管理者)の研修会を厚生省、日本医師会の協賛を得て開催することとしたものである。

なお今回の催しは初めてのものであり、その成果を見て引き続き毎年実施するとのことであり、その成果が期待されている。

なおこの研修会の日程は次のとおり、

2月18日

開講式

精神科医50年

病院管理

内村 祐之

吉田 幸雄

2月19日

精神衛生行政

精神障害者の人権問題

精神病院管理

精神病院のパラメヂカルスタッフ、臨床心理

員について

佐分利 輝彦

元吉 元

前田 忠重

秋山 誠一郎

2月20日

精神病院指導と時事問題

保険医療の問題点

精神科のリハビリテーションについての考

方

此村 友一

松浦 十四郎

江副 勉

## “精神衛生相談員資格認定講習会を開く”

厚生省では昭和44年度の事業として計画されている精神衛生相談員の資格認定講習会を行なうこととしているが、その後期分が現在行なわれている。

場所 大阪府公衆衛生研究所

期間 自昭和45年2月2日

至昭和45年3月4日

受講人員 58名

内訳

新潟県1名

静岡県2名

滋賀県1名

奈良県1名

鳥取県2名

岡山県1名

福井県2名

三重県1名

京都府3名

和歌山県2名

島根県2名

徳島県5名

香川県4名 愛媛県2名

佐賀県2名 長崎県1名

大分県1名 宮崎県2名

鹿児島県1名 大阪府4名

岐阜市1名 堺市2名

姫路市2名 和歌山市2名

大阪市2名

なお聴講生として電々公社の保健婦さんが9名参加している。

## “精神病院の火災事故調べ”

厚生省ではこのほど昭和35年より44年までの10年間に於ける精神病院の火災事故について調べていたが、その結果をまとめた。これによると単に板二、三枚を焼いたものから、数名の死傷者を出したものにまで相当数にのぼっていることが判った。

このうち、いわゆるボヤ程度で大事に到らなかったものは除いて主なものを持記すると次のとおりとなる。

1. 火災事故発生件数 25件
2. 死傷者数 死者 22名  
負傷者 21名

### 3. 内訳

- (1) 件数 火災事故は、19都道府県で25件発生しており、これを経営主体別にみると地方公共団体立病院が3件、法人立11件、個人立が11件となっており、これら建物の70%に当る16件が木造の病院である。

### (2) 事故発生原因

患者の放火または失火によるものが8件と約半を占めているが、炊事場、風呂場等の煙突の過熱によるもの8件と、ストーブの火の不始末等4件、その他原因不明5件となっており、病院側の不注意とみられるものもある。

以上は厚生省の調査による一部であるが、厚生省精神衛生課では昨年の徳島県下の精神病院の火災事故を契機に更に各病院の防災計画、実施について再点検を要望している。

## — 第18回精神衛生全国大会は10月新潟県で —

本年の日本精神衛生連盟の行なう第18回精神衛生全国大会は、さきの広島大会に続いて本年は東北ブロックを中心とし開催地を新潟県とすることがす

に連盟の委員会で決定されており、開催地新潟県では10月3日、4日、5日を予定し鋭意準備されているが、その日程が次のとおり予定されている。

## 第18回精神衛生全国大会日程(新潟県案)

日	時	行 事	場 所	主 催	
昭和45年 10月4日 (日)	13.00~17.00	全国精神障害者家族会	市公会堂	全国精神障害者家族連合会	
	14.00~17.00	全国指定病院長会議	イタリヤ軒	日本精神病院協会	
10月5日 (月)	9.00~12.00	全国精神衛生センター所長及び精神衛生相談所長会議 全国精神衛生センター及び精神衛生相談所研究協議会	自治会館講堂	全国精神衛生センター所長及び精神衛生相談所長会	
	9.30~12.00	全国精神衛生連絡協議会	理事会 9.30~11.00	県民会館第1会議室 " 第2.3会議室	全国精神衛生連絡協議会
			総会 11.00~12.00		
13.00~16.00	第18回精神衛生全国大会	第1分科公開討論会 第2分科公開討論会	市公会堂 県民会館小ホール	日本精神衛生連盟 東北ブロック精神衛生連絡協議会 新潟県精神衛生協会 新潟県医師会 新潟県 新潟市	
10月6日 (火)	10.00~12.00	精神衛生鑑定医会議	県民会館小ホール	厚生省	
	13.00~14.30	第18回精神衛生全国大会	大会式典	県民会館大ホール	日本精神衛生連盟 東北ブロック精神衛生連絡協議会 新潟県精神衛生協会 新潟県医師会 新潟県 新潟市
	14.30~17.00		公開座談会		

## 事務局より

全国精神衛生協議会の会報については、村松会長の強いご希望により本年度より4月と10月の会報の中間において、1月と7月を目途に、正規の会報のほかに連絡程度のもを皆様にお届けをする予定であります。またこの会報に掲載して広くお知らせするような事項があれば、投稿をしていただきたくお願いします。

昭和45年1月

(西尾 記)

昭和45年1月31日 発行

発行人 村松 常雄

編集人 佐分利 輝彦

発行所 東京都千代田区霞ヶ関2の1

厚生省公衆衛生局精神衛生課内

全国精神衛生連絡協議会

印刷所 千葉県市川市市川南2-7-2

株式会社 弘文社

第8回新聞記者講習會全體大會之日程表

本會為提高新聞記者之專業知識及實踐能力，特舉辦此次講習會。全體大會將於每日上午九時在會場舉行。屆時請全體學員準時出席，並請各學員將個人心得與問題提出討論。大會將由本會負責人主持，並邀請專家學者進行專題演講。大會之具體日程如下：

日期	時間	內容	講者
10月1日	上午9時	全體大會開幕式	本會負責人
10月1日	上午10時	新聞記者之職責與使命	張君
10月1日	上午11時	新聞採訪之技巧	李君
10月1日	下午2時	新聞寫作之原則	王君
10月1日	下午4時	新聞攝影之基礎	趙君
10月2日	上午9時	新聞編輯之實務	陳君
10月2日	上午10時	新聞評論之寫作	周君
10月2日	上午11時	新聞報導之倫理	吳君
10月2日	下午2時	新聞記者之法律常識	孫君
10月2日	下午4時	新聞記者之社會地位	鄭君
10月3日	上午9時	全體大會閉幕式	本會負責人

**“精神衛生社職員資格認定”**

本會為推廣精神衛生知識，特舉辦此項資格認定課程。課程內容包括精神衛生之重要性、常見精神疾病之症狀與治療、以及如何提供心理支持等。課程將於每日下午二時在會場舉行。歡迎各界人士踴躍參加。報名及查詢請洽本會秘書處。

**“本會服務”**

本會為服務會員及社會大眾，特提供以下各項服務：

- 1. 提供最新新聞資訊及專業知識講座。
- 2. 提供新聞採訪及寫作之實務指導。
- 3. 提供新聞攝影及編輯之技術培訓。
- 4. 提供新聞記者之法律諮詢及權益保障。
- 5. 提供新聞記者之社會地位及職業發展之諮詢。

如有任何需求，請隨時與本會聯繫。電話：XXXX-XXXX。地址：XXXX路XXXX號。

本會服務宗旨為：提高新聞記者之專業素養，促進新聞事業之發展，維護社會公義與正義。本會將不斷完善服務內容，為會員及社會大眾提供更多元化之服務。歡迎各界人士踴躍參與，共同為社會之進步貢獻力量。